

**繊維補強セメント系複合材料の新しい利用法研究委員会（JCI-TC-104A）**  
**第3回委員会議事録案**

日 時：平成23年1月7日（金）15:00～17:15

場 所：JCI 会議室

出席者：金子，国枝，金久保，栗橋，浅井，伊藤，斯波，諏訪田，塩永，瀬古，堀口，前田，  
室賀，山野辺， JCI 井上

欠席者：網野，石原，磯，岩波，菊田，長井，永井，平田，渡辺 (敬称略)

資 料：

- 3-1 第3回委員会議事次第
- 3-2 第2回委員会議事録案
- 3-3 第3回幹事会議事録案
- 3-4 新しい利用法一覧（WG1）
- 3-5-1 性能評価 WG 第1回 WG 議事録案
- 3-5-2 ECC のテンションステイフニング効果に関する研究
- 3-5-3 高性能繊維補強モルタルを適用した RC 部材の一軸引張挙動に関する研究
- 3-6 環境対応 WG メモ

議 事：

1. 委員長挨拶

金子委員長より，開会の挨拶があった。

2. 幹事会報告

11月22日に開催された幹事会議事録案が紹介された。

3. WG 報告

各 WG 主査から，WG の活動報告がなされた。主な内容は以下のとおり。

<WG1 新しい利用法>

- ・査読付き論文を中心に，文献調査を引き続き行う予定である。
- ・何をもって新しいという点については，再整理が必要。①既存のコンクリートでも実現できないもの，②既存のコンクリートでも実現できるが，付加価値が付けられるもの，などいろいろな考え方があある。
- ・利用法の対象については現段階ではスクリーニングし過ぎない点に留意する。いろいろな適用事例を集めることとする。
- ・WG2 との関連も考慮して，ひび割れ幅に関する情報に着目して整理する。

<WG2 性能評価>

- ・長期性能に特に関与するひび割れ幅を評価対象とするが，特に繊維の架橋則を材料特性として評価することを試みる。
- ・ひび割れ幅に着目した論文が2編紹介された。
- ・圧縮靱性などその他の材料特性についても引き続き検討することとした。

<WG3 環境対応>

- ・超高強度高靱性材料を使用した構造物の LCC の事例について情報収集する。

- ・寿命をどの程度に設定するかの方針についても整理すると良い。

幹事会議事録にもあるように、次回委員会時には各 WG のロードマップを提示することとした。

#### 4. 次回開催予定

日時：平成 23 年 3 月 29 日（火）

13:00～ 各 WG 開催

15:00～ 全体委員会

場所：JCI 会議室

以上